

STEP 3

育ちと学びがつながる

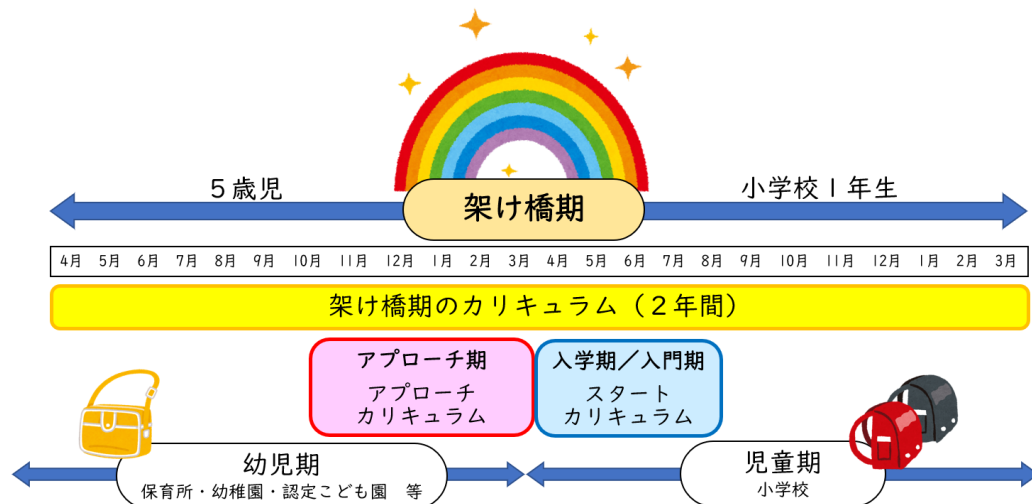
保幼小のつながりを意識して「日々の教育及び保育」を行っていくことで、子どもの育ちと学びをつなげていきましょう。詳しくはこちら↓



架け橋期のカリキュラムとは何ですか？
アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムとの違いは？



A1. 大きく違うのはカリキュラムの期間や作成者です。



カリキュラム	期間	作成者	内容
架け橋期	5歳児～小学校1年生の2年間	園と小学校が協働	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を手掛かりとし、育成をめざす資質・能力を視野に入れたもの。
アプローチ	就学前 5～6か月間が目安	園	就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習に適応できるようにするとともに、遊びや生活から得た経験を生かして学習や生活に意欲的に取り組んでいけるように工夫したもの。
スタート	入学後 4か月間が目安	小学校	幼児期の遊びや生活を通した育ちと学びを基盤として主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出し、円滑に移行していくためのもの。



架け橋期のカリキュラムを作成すると、どんなよいことがありますか？

A2. 保幼小が共通の視点を持ち、協働して作成することにより、子どもの育ちと学びの連続が保障されます。また、計画的な実践とともに、教育及び保育を見直すことが習慣になります。さらに、担当が変わっても一貫性のある教育活動を行うことができます。



行政として、架け橋期のカリキュラムの作成や改善のため、園や小学校へ、どのように働きかけたらよいのでしょうか？

A3. 教育委員会や市町の保育主管課は、小学校区にカリキュラム開発会議の設置を促してみましよう。会議自体は学校運営協議会や園・校長連絡会等、既存のものを利用します。



どんな視点で話し合えばよいですか？

A4. まずは子どもたちの実際の姿から、めざす子ども像について話し合ってみましよう。めざす子ども像が決まると、カリキュラムに表すものが整理されるとともに、カリキュラムに特色が出て、作成の意義が増します。視点についてはリーフレット「はじめのいっぽ」を参考にしてみてください。

詳しくはこちら→



話合いの際は何を参考にしたらよいですか？

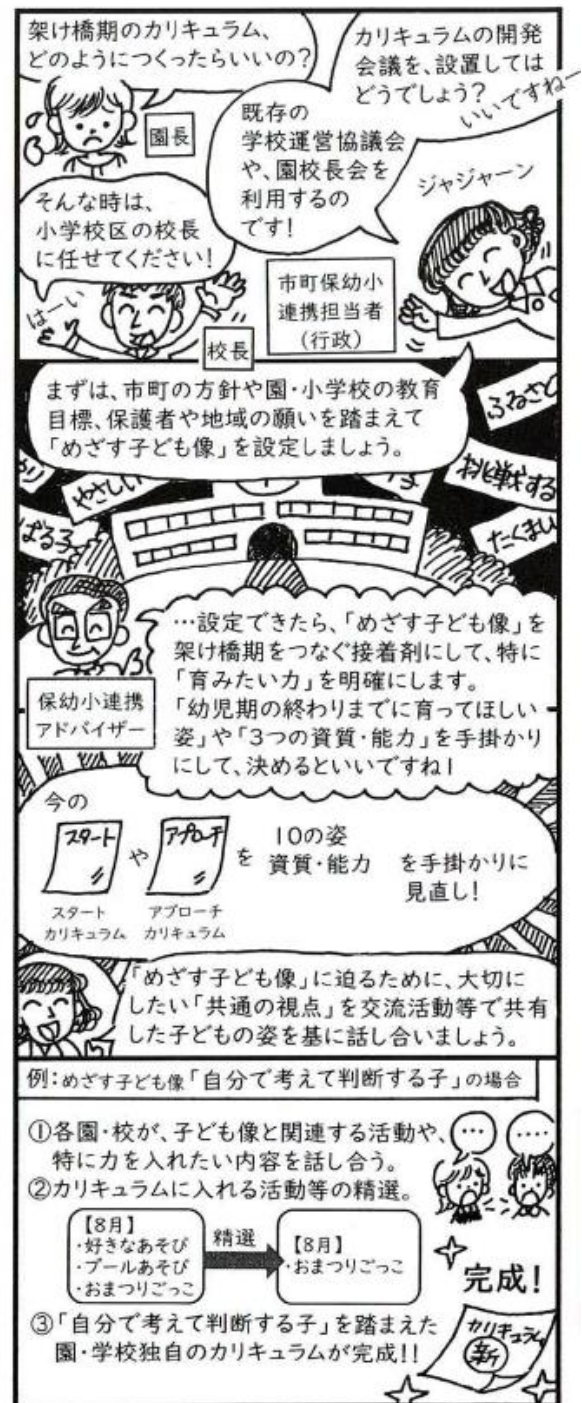
A5. 例① 市町のエ育目標や園・学校目標、保育・教育方針がわかるもの（保育全体計画やグランドデザイン等）…めざす子ども像について話し合うときに役立ちます。

例② アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム…育ちや学びのつながりや指導上の配慮事項を考えるのに役立ちます。



地域や保護者への啓発を進めるためには？

A6. 「保幼小連携」で行ったこととそのよさを様々な方法でどんどん発信ましよう。例えば、園・学校だよりや懇談会のときなどに伝えることができます。また、就学時健康診断の際に、保護者向けに幼児教育と小学校教育のつながりに関する講演会を開いている小学校もあります。



STEP 3

「育ちと学びがつながる」事例

教育及び保育の共有 つながる学び

「めざす子ども像」

「育みたい資質・能力」を視点に
つながろう！

- ①執筆者の所属：小学校
- ②児童数：600人
- ③連携園数：十数園（今回は1園）
- ④連携の現状：年に2回協議会を実施しています。交流は年に1～2回程度です。
- ⑤執筆者の一言：子どもたちの姿を語り合うことで先生同士がつながりましょう！

1 ねらい

- 幼児教育及び保育と小学校教育のめざす資質・能力のつながりを知る。
- 保育・授業参観での子どもたちの姿や園・小学校での取組を共有しながら「どのような子どもを育てたいか」を参加者で話し合うことにより、互いの教育及び保育で大切にしていることを共有しながら「めざす子ども像」を焦点化していく。
- 共通理解した「めざす子ども像」をもとに、重点的に育みたい資質・能力について話し合うことを通して、それぞれの教育及び保育に生かす。

2 参加者（☆：本実践の企画・運営担当者）

園

園長、主任、☆5歳児クラス担任等

管理職の先生に助言をいただけると心強いですね。

校長・教頭などの管理職、☆保幼小連携の担当者、1年生担任、養護教諭
☆教務主任等

小学校

3 時期

入学から1学期終了までに
（事例は11月だが、入学した子どもたちの様子を参観した後にできるとよい。）

4 話合いの流れ

(1) 保育・授業参観を行った場合（保育・授業の後に50分）

保育・授業参観を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を視点に互いの育ちや学びがつながっていると思うところを出し合ったり、自分の園・小学校での取組や日々大切にしていることを紹介し合ったりする。

- （例）・園での保育が小学校の学びにつながっている、と感じたところは？
・園・小学校それぞれの取組の共通点は？

保育・授業参観を行わない場合（各園・校で5～10分で説明した後に50分）

それぞれの園・小学校の保育・教育目標などを踏まえながら、自分の園・小学校での取組や日々大切にしていることを共有する。

- (2) それぞれの取組や日々大切にしていることの中から、共通する「めざす子ども像」を焦点化していく。（20分）

詳しくはこちら→



写真や映像、文字資料などがあると伝わりやすいです。

STEP 3

(3) 「めざす子ども像」が焦点化されてきたら、それを実現するために「育みたい資質・能力」を具体化していき、園・小学校の先生が

①既に取り組んでいること

②新しくできそうな取組

を考えて紹介していく。(30分)

(例) ・子どもがのびのびと自分の思いを表現できる場を意識的に設定する。

・園・小学校それぞれが発達に応じた「振り返り」をしていく。

・子どもの意欲・関心が高まるような環境設定や保育や授業の導入の工夫をする。

・自分たちで考えて思いを実現していく場の設定を工夫する。 など

5 話し合いを充実させるためのポイント

同僚性が生まれるように、自己紹介の工夫もしてみたいですね。

○ 架け橋期にめざす子ども像を共有する大事な機会なので、時間的な余裕をもつことが大事。できるだけ、いろいろな園・小学校の教職員が意見を言いやすいような、温かい雰囲気づくりをする。

○ 写真や映像、文字資料などで子どもの様子を紹介し、子どものよさを話し合い、昨年度、園がどのようなことに重点を置いて保育を行っていたのかを共有すると、それぞれの教育及び保育に共通点が見え、今後も支援をつなげていこうと再認識できる。

○ それぞれの保育計画や年間カリキュラム、指導計画などを持ち寄り、園・小学校で「日々大切にしていること」を紹介し合いながら「めざす子ども像」「(重点的に育てたい)資質・能力」について、つながっているところを共有していく。

教育及び保育で大切にしていることを共有し合います。

○ 1 つの小学校に様々な園から入学してくる状況がある中、その年に集まった園と小学校のカリキュラムや大事にしていることを話し合いながら、「めざす子ども像」を焦点化していき、その姿に近付けるために、何をしていくかが明確化されるとよい。小学校のカリキュラムに合わせるのではなく、「それぞれ実践から共通するところを探していく」というイメージをもつことが大切である。

○ 話し合いに参加した教職員が復命を確実に行うことが大切。「めざす子ども像」実現のために、自分たちの園・小学校で

①既に取り組んでいること

②(無理せず)新しくできそうな取組

は何かを話し合い、教育及び保育に生かす。今の実践できていることを見付け、深めていこうとする方向性が大事。(カリキュラムの見直しも行えるとよい。)



STEP 3

6 話し合いの実際



【参加メンバー】

- 園** 園長 保育主任
各年齢担当 3 名
- 小学校** 校長 教務主任
1 年生担任 3 名
保幼小連携担当者

【流れ】

- 校長先生より
- 自己紹介
- (1) 子どもたちの様子・今まで
の教育及び保育を紹介し合う
(子どもたちの実際の姿)
- (2) 「めざす子ども像」を焦点
化する
- (3) 子ども像を実現するため
「育みたい力」について話し
合ったり、力を育てるために
既に行っていることを見つけ
たりする
- 振り返り
- 園長先生より

話し合いは、山口県乳幼児の育ちと学び支援センタ
ー作成リーフレットの「はじめのいっぽ」の STEP3
「育ちと学びがにつながる」のページを参考にしながら
実施しました。(11月上旬)

まず左下の【流れ】(1)にもあるように、写真など
を見せながら、2 学期の園の保育や 1 年生の学習
の取組について説明し合いました。園では「選ぶこ
と」を大切にしたい運動会への取組を中心とした説明
があり、1 年生の学習では生活科を中心に他教科と
つなげた学習をしていることを説明しました。写真な
どで様子が伝わり、互いが大切にしている教育及び
保育への理解につながっていきます。その中で、どち
らも「振り返り」を大事にしていることが話題になりま
した。

次に(2)で「めざす子ども像(○)」とそれをめざす
ために必要な「育みたい力(・)」は何かを話し合いまし
た。

その中で次のような内容が出てきました。

- 「自分の思いを伝えることができる子ども」
・話す・聞く・待つ力 ・言葉の力
・自分の気持ちを自覚する力
- 「思いやりがあり友達のことを理解しようとする子」
「相手の立場や気持ちを想像して行動できる子」
・コミュニケーション能力 ・気付く力
- 「最後までやり抜く子」
・自分の行動に責任をもつ力
・自分で考え、選び、粘り強くやり遂げる力 など

「めざす子ども像」は、中学校区の学校・地域連携カリ
キュラムにも重なる部分があり、つながりを感じました。協
議をしながら互いがめざしている子ども像が焦点化され、
◎自分が経験したことや考えたことをのびのびと伝え合う
ことができる子
◎自分たちの課題に向かって友達と最後まで粘り強く取
り組もうとする子
が挙がってきました。

STEP 3

さらに(3)で、ここから、「育みたい力」を育てるために、今の教育及び保育で既に行っていることは
ないか、互いに探し出していきました。

	園	小学校
思いを伝える力を 付けるために	・日常の会話の中で話すことへの安心感をもつことができるようにする。 ・子ども同士をつなぐために集会でインタビューやクイズをする。 ・言葉を引き出すために、話す場を設けたり問いかけたりする。 ・自分の思いを「みんな」が伝える場を設け、それを聞く仲間を育てる。	・思いを言語化する支援を行う。 ・自分の思いを表現する場の設定を意識的に行う。 ・交流活動を仕組む。 ・ペア活動を取り入れる。 ・子どもの言葉にこだわって、問い返しをしていき、思いを表出することができるようにする。
思いやりの気持ち がもてるようにす るために	・よいことをしたらすぐその場で褒める。 ・思いを受け止め、共感する。 ・子どもを知ろうとする。	・友達の気持ちをクラス全体で共有する。 ・よいことの価値付けを行う。 ・自分との違いに気づき、相手のことを受け止められるようにする。
最後までやりぬく 力、主体的に学ぶ 姿を育てるために	・「選ぶこと」を大切にする。 ・手本を見せることで見通しをもち、自信をもって活動できるようにする。	・係活動を行う。(大切にする) ・自信をもって活動するためにルーティン化して見通しをもてるようにする。

この話合いの中から「めざす子ども像」と「育みたい力」「今の教育及び保育で実践していること」などを整理し、園と小学校で日々の教育及び保育やカリキュラムづくりに生かしていくこと、「新しく取り組みそうなこと」は園や小学校に持ち帰って話し合おうということになりました。

【話合いを振り返って】

園の先生と小学校の先生が一緒に話し合う機会を設定し、互いの教育及び保育の様子を知ることができました。特に、「選ぶことを大切にしている」という園の保育は、小学校の先生にとって、「はっ」とする考え方だったように思います。子どもが身に付けていく内容がある中で、学び方にいろいろな選択の場面を設定するのは教科によって難しいかもしれませんが、ぜひ取り入れていきたいと感じました。「相手を知ることが自分たちの仕事を高める」ということに気付いた時間でした。



【アンケートの設問項目】

- 1 互いの実践を聞いて
 - ①よいなと思ったこと
 - ②生かしたいと思ったこと
- 2 話合いをして改めて考えたこと
 - ①めざす子ども像
 - ②育みたい力
- 3 ①②を実現するのに今取り組んでいることは？
- 4 感想

また、「めざす子ども像」「育みたい力」「今の教育及び保育で実践していること」を一緒に話し合うことによって、より「つながり」を意識することができました。

話合い後のアンケートでは、互いの理解に加え、「自分たちの教育及び保育について立ち止まって考えることができたこと」が先生方の学びとなっていたようです。

来年度からは、小学校区を中心に連携の会議を行います。今回は1校1園でしたが、これからいろいろな園の先生方とこのような話合いをして、さらに互いのことを知り、園・小学校の教育及び保育に生かせるような連携の在り方を探していきたいと思っています。

STEP 3

「育ちと学びがつながる」事例

遊びから教科へ

つながりを見つける

園での活動と小学校の学習のつながり

- ①執筆者の所属：認定こども園
- ②園児数：240人
- ③連携園・校：1校1園
- ④連携の現状：年度初めに計画を立て、9回の会議や研修・交流を行っています。
- ⑤執筆者の一言：会議を重ねるごとに先生同士も仲良くなり、相互理解が深まります。

1 ねらい

- 小学校及び園の実態を知り、円滑な接続に向けての子どもの育ちを考える。
- 対話を通して園・小学校の指導法の違いや同じところ、環境設定などについて相互理解を図る。

2 参加者（☆：本実践の企画・運営担当者）

園

保育所：園長、副主任
幼稚園：園長、主任、☆保幼小連携の担当者、
幼児クラス担任（6人）

校長、1年生担任（4人）

小学校

3 時期

夏休み期間中

小学校の授業参観をした後などに
つながりについて共有する時間をもつのもよいかもしれません！

4 話合いの流れ

- (1) 幼児期の遊びが小学校教育のどのような場面につながるのか、小学校教育の生活科の内容に着目し、共通点を見つける。
- (2) 小学校側は、ラーニングストーリー※(子どもの育ちの記録)、園側は教科書を見て気付いたことや印象に残ったことを話す。
- (3) 先生の関わり方や言葉かけ、環境設定について共有する。

グループ協議は4～5人の少人数で行うと、質問もしやすく対話が多くなります。

5 話合いを充実させるためのポイント

- グループ協議の時間を十分にとり、対話を通して参加者一人ひとりのいろいろな感じ方や気付きを話し合う。
- 「すごい」「おもしろい」「よいな」とその時に思ったこと・感じたことを伝え合う。
- 園の遊びの中で発見したことや工夫したことが、小学校の教科においてどのように子どもの思考に変化が見られるのか、つながりを見つける。

※ ラーニングストーリーとは

ニュージーランド発祥の、子ども一人ひとりの姿を見取り、観察と記録による「子ども理解」の方法のこと。

5つの視点(興味をもっていること、夢中になっていること、挑戦していること、気持ちを表現していること、自分の役割を果たしていること)をもとに、エピソードと写真を添えて作成する。実践園が採用している。



STEP 3

6 話合いの実際

(1) グループ協議【60分】

- 18人が4つのグループに分かれ、「対話」を通して互いの理解を深めました。
- 園での遊び(植物との関わり)を記録したラーニングストーリーと小学校の生活科の教科書を見て気付いたこと・印象に残ったことを付箋に書いて話し合いました。

(2) 各グループの発表【各グループ3分】

海グループ	川グループ
「すごい!」「おもしろい!」と思ったことを共有しました。その中で園から小学校へのつながりと同じところについて話し合いました。 園生活が一人ひとりの思いに添った活動になっていて「すごい!」と感動した。 幼児期の遊びの体験の中で触る・見る・嗅いでみることに長けているので多くの気付きが出てくる。得た知識が小学校でも生かされる。	興味・関心からの発展とその時の先生の働きかけについて共有し、教科への接続のつながりとして話し合いました。 園では子どもの活動と共に先生の声掛けや対話も記録されている。 園) アサガオを育てる体験から色水遊びへ発展。 小) 観察記録から比べる・見付ける・例えるへレベルアップ。
山グループ	空グループ
園と小学校の環境づくりの違いや表現の仕方について話し合いました。 園生活は自由で題材もたくさん用意されていて、選ぶことができる環境があるからこそ楽しさがある。 幼児期のみんなで一緒に植物に触れ合う体験があるからこそ、小学校で一人一鉢を育て記録する中で友達と比べることができる。	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の「3つの柱」でグループ分けをして話し合いました。 幼児期は遊びの中で学んでいくので興味関心が多くなると思ったが全ての面でつながりを感じた。 幼児期の学びや気付きを深めていくには子ども同士の会話やつぶやき・先生の声掛けが大事であることが分かった。

- 6月の接続会議の中で、共にアサガオを育てているという共通点を見付け、遊びの中での育て方と授業での育て方のつながりを知りたいと興味関心が高まり、研修テーマを設定しました。
- 教科書には仕掛けがあり、子どもたちのつぶやきも書かれているので、図鑑みたいで楽しいという意見が多くありました。今回は小学校の生活科のみを取り上げましたが、いろいろな気付きがあり、幼児期の体験を小学校の体験につなげ、さらに新しい知識を加えて整理することで興味が深まることにつながるといいます。言葉で表す場合は国語科、数で表す場合は算数科、形で表す場合は図画工作科と、視点の当て方によって全教科へのつながりに気付くことができました。
- 園と小学校の「違うところ」ではなく「同じところ」を多く認識できたことは互いにとって学びの深い時間になりました。どんな気付き、印象でもよいので、思ったことをみんなで共有し、相互理解していく時間も大切だと教えていただきました。今後は、5歳児クラス・1年生の担任だけでなく、園全体・小学校全体の教職員で非認知能力の育ちの大切さについて理解を深め、情報共有していくことが必要だといえます。

STEP 3

「育ちと学びがつながる」事例

PDCAで交流活動を充実させよう

同僚性

一緒に振り返りをしませんか？

その日のうちに

地域性を生かした人とのつながり

- ①執筆者の所属：幼稚園
- ②園児数：32人
- ③連携校数：1校
- ④連携の現状：6年以上
- ⑤執筆者の一言：小学校と隣接している立地のもと、園児が小学校の複数年と交流を行い、教職員同士もつながりを深めています。

1 ねらい

- 園・小学校それぞれのねらいの共有や振り返りを行い、次年度に向けての課題について話し合うことで継続的なPDCAサイクル※を位置付ける。
- 園の先生は子どもの遊びが小学校の学習のどこにつながっていくか、小学校の先生は就学前後の子どもの育ちを捉え、それぞれの指導の工夫に生かすことができるようにする。
- 直接会って話し合うことで、人と人とのつながりを大切にしたい協議の場となるようにする。

2 参加者（☆：本実践の企画・運営担当者）

園

☆5歳児クラス担任

☆1年生担任

小学校

3 時期

交流活動前後で行うとよい。

短時間でコンパクトに話し合うことが
続けていくポイントです。

4 話し合いの流れ

- (1) 交流実施前にそれぞれのねらいやめあての共有を行う。(15分)
- (2) 交流実施後に、写真や映像など具体的な子どもの姿を基に、ねらいや、評価の視点で子どもを捉えながら一緒に振り返りを行う。次年度に向けての課題等を話し合い、記録を残しておく。(20分)

5 話し合いを充実させるためのポイント

- 互いの園・小学校の子どもを見合うことで相互理解を図り、それぞれのねらいを基に相手の教育及び保育の内容や指導方法を理解し共有できるようにする。
- 交流活動が行われたその日のうちに必ず振り返りの時間をもつ。
- 年度末の合同会議では管理職を含めた話し合いの場をもつ。

※ 交流活動における「PDCAサイクル」とは

P…Plan(計画) 計画の作成→日程の決定、ねらいやめあてを共有する。

D…Do(実行) →交流活動を実施する。

C…Check(評価) →園、小学校の先生が子どもの姿を基に共通の視点で振り返りを行う。

A…Action(改善) →改善し次年度につなげる。

互いに見えていなかった
園児や児童の姿を共有
することができます！

この会議内で、次年度の
日程を決めています！

STEP 3

6 話合いの実際

(1) 交流活動に当たって

本園は小学校と隣接した立地であることや、長年交流活動が継続的に行われていることなど、先生も子どもも行き来がしやすいという地域性があります。誰が5歳児クラス担任になってもPDCAサイクルを生かした交流ができるようにしていきたいと考え、今年度の交流活動の一部を考えてみました。



(2) Plan (計画)

交流活動の1週間前を目安に互いのねらい、評価の視点などについて共有する場を設け、以下の2点について共通理解を図りました。(5歳児クラス担任・1年生担任)

園児のねらい ○友達と一緒に秋まつりを楽しむ ○作られている物に興味をもって、遊びに参加する

児童のねらい、評価の視点について ○主体性 ○相手軸 ○協力

(3) Do (実行)～Check (評価)

交流活動を行った後(子どもの降園後)に集まって、一緒に振り返りを行いました。

5歳児クラス担任の振り返り	1年生担任の振り返り
2つの視点で子どもと振り返りを行った。 視点①どのコーナーが楽しかったか。 視点②園にはないものがあったか。 印象に残っているコーナーについては、具体的にどのようなところにおもしろさを感じたかを、自分なりに言葉で伝えることができていた。また、写真を見て振り返りを行うことで、イメージしやすくなった子どももいた。 この時期の生活科の授業の中に、園生活の中で経験する様々な遊びがつながっていると感じた。また、どのコーナーの児童も対園児という意識で関わっていた。	対園児という面で、相手に喜んでもらうことについてもう少し伝えていきたかったが、児童たちが臨機応変に対応できていて感心する場面もあった。 対園児だけでなく、グループ内での友達同士の関わりも含めて考えていた。グループにリードできる子がいると、児童に頼ってしまうことが多かったように思う。 集めた自然物でいかに遊ぶか、園で工夫しながら遊ぶ経験をしている園児に対して、児童がどのような遊びを考え、表現していくかが必要だと感じた。

(4) Action (改善)

昨年度は取組の時期が早すぎて自然物が集まらなかったため、今年度は、昨年度より1週間遅らせての開催でした。今年度に行った時期の開催がちょうどよいのではないかとことで、来年度に引き継ぐことを確認しました。

(5) 園で話し合った、交流活動の後、その日のうちに直接会って話し合うことのメリット

- 次の日の保育にすぐ生かすことができ、子どもとの関わりに有効である。
- 子どもの姿を話し合うことで、互いに見えていなかった子どもの姿を共有することができる。
- 話合いの中で、先生たちが互いを知ることができ、同僚性が生まれる。

STEP 3

「育ちと学びがつながる」事例

市の取組

「カリキュラムの見直し・改善」を

視点として話し合おう

- ①執筆者の所属：教育委員会
- ②参加者：55人
- ③市内の園、小学校数：24園、11校
- ④連携の現状：平成21年度から年1回、市が研修会を主催しています。
- ⑤執筆者の一言：行政が保育所・幼稚園・認定こども園等と小学校とのパイプ役を務め、円滑な接続を行っています。

1 ねらい

- 5歳児が、スムーズに小学校生活へ適応していけるようにするために、保育所・幼稚園・認定こども園等と小学校が、幼児教育や小学校教育の内容、家庭・地域における取組について相互に理解し、円滑な接続を図る。
- これまで園生活で経験してきたことや培ってきた力など、就学前の子どもの育ちを小学校の教職員が共有し、就学後の指導の工夫に生かす。詳しくはこちら→
- 小学校において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を踏まえた指導を行うことにより幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を紡いだ途切れのない教育活動を実施する。



2 参加者（☆：本実践の企画・運営担当者）

- 園(24園) 園長、主任、5歳児クラス担任者等（計29人）
- 小学校（11校） 校長・教頭などの管理職及び保幼小連携の担当者等（計22人）
- 行政機関 ☆教育委員会担当者、保育主管課担当者（計4人）

3 時期

早めに設定することで、顔合わせができ、連携する保幼小で年間の見通しをもつことができます！

市として行う研修会の開催時期：6月 各園・校での協議：夏休み等

4 研修会の流れ

- (1) 市の所管説明（10分）
- (2) 外部講師による講演（幼児教育アドバイザーや大学の講師等の活用）（50分）
- (3) 交流校区（園と小学校で交流活動を行っている校区）別に協議（35分）
（カリキュラムの見直し・改善、教職員同士の研修や情報交換、園児と児童の交流等）

詳しくはこちら→



5 研修会・協議会を充実させるためのポイント

- 担当者が代わってもこれまでの取組状況が分かり、改善の見通しがもてるようにするため、市として統一のカリキュラムの型を使用する。
- 保幼小のつながりを系統的に整理するため、カリキュラムの型をシート1枚にまとめる。
- 円滑な移行に重点を置くため、5歳児11月から1年生7月までの連携カリキュラム（リンクリンクカリキュラムと呼ぶ）とする。
- 育てたい子ども像を共有するため、関係機関（子育て支援課・学校教育課）との連携を図る。
- 学校によっては、複数の園との連携を必要とする場合があることを考慮して、各園と小学校のカリキュラムの作成になることもある。

STEP 3

6 研修会の実際

(1) 市の所管説明(カリキュラム作成の意義やねらい等の確認)

ア 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領に記載されている円滑な連携・接続について

イ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」の概要、連携の必要性について
＜園と小学校の教職員での共通理解事項＞

- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)
- 到達すべき目標ではないこと(5歳児終了時までには100%実現を求めるものでないこと)
- 小学校入学当初においては、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと



課題や現場のニーズ等を考慮して内容を決めています！

(2) 外部講師による講演

これまで「教育課程と教育・保育の実践」や「支援を必要とする子どもの豊かな学びのために」等と題して講演を行っています。

内容例：具体的な園児の活動の様子から見取る「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等
(講演後に行う、昨年度作成したカリキュラムの見直し・改善の際に参考)

(3) 交流校区別における話し合い

ア 今年度の1年生の様子やアプローチカリキュラム、スタートカリキュラム、週案などの教育課程の情報共有

イ 今年度のカリキュラムについて見直し、今後の計画についての話し合い(P.39参照)

期待する子どもの姿について

- 5歳児については、子どもの実態と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」と照らし合わせ、特に重点を置きたいもの
- 1年生については、1学期間は、児童が学校生活に慣れるための期間として考え、生活科を軸として学習を進めていき、幼児期とのつながりを考えたもの

カリキュラムの作成

園生活から小学校の生活へとつながるようなイメージや、幼児期の遊びを通した総合的な学びが各教科の学びへとつながるイメージ、人・もの・こととどのような関わりをもって成長していくかという視点

園と小学校の教職員から、園・小学校でのめあてや活動等を1枚の紙面にまとめた「カリキュラム」を計画・活用してみて、主に以下のような意見がありました。

- 園で身に付けた力を伸ばせるようなスタートカリキュラムを考えていきたい。
- 互いのめあて、具体的な活動内容が記載されているので方向性がよく分かる。そこに向けての活動に取り組みやすい。
- リンクリンクカリキュラムにより、活動のつながりが可視化され、全教職員の共通理解を図ることができた。
- 地域の小学校へ共に入学するという意識をもち、校区内それぞれの園の共通目標や課題を確認しながら就学前の教育や保育を行うことができる。

STEP 3

参考資料

山陽小野田市 ○○○○園・△△小学校 リンク リンク カリキュラム (2023.6.17作成)

共通の視点項目	5歳児 11月	12月	1月	2月	3月	1年生 4月	5月	6月	7月
期待する子どもの姿	お互いを認め合い、集団の中で同じ目的に向かって協力したり、小学校入学を喜び、自分の力					1学期間は、児童が学校生活に慣れるための準備期間として考え、生活			
自立的な生活態度	○園外保育() ・道路の歩き方	○ありがとうそうじ() ・そうきんの使い方	○ありがとうそうじ() ・ほうきの使い方	○園外保育() ・危険な場所	○卒園式の練習()	○学級活動() ・気持ちのよいあいさつ ・学校のきまり ・衛生的なトイレの使い方			
人とのかかわる力	○発表会の練習() ・鉄棒 ・マット	○ゆうびんごっこしよう ・かるた ・すごろく	○お正月遊び() ・かるた ・すごろく	○卒園制作() ・カレンダーづくり	○学校ごっこしよう() ・すきなものごっこ	○生活科: 学校探検() ・あいさつ ・自己紹介 ・2年生とグループ活動	○1年生を迎える会()	○交通安全教室 ・地域のおじいさん やおばあさんとの 触れ合い()	○縦割り班で遊び、善悪の判断を身に付ける。()
豊かな感性	○発表会の練習() ・秋となかよし【小学生と交流活動】() ・秋さがし ・おもちゃづくり	○冬の自然を楽しむ()	○卒業制作() ・壁画づくり	○卒業制作() ・壁画づくり	○生活科: 学校探検() ・2年生とグループ活動 ・学校で働く人について知ること	○生活科: 学校探検() ・2年生とグループ活動 ・学校で働く人について知ること	○生活科: なつとなかよし() ・夏を感じる遊び	○道徳の時間で心を育て、心を磨く。()	○生活科: 「育てよう、わたしの好きな花」「飼ってみたいわたくしのペット」()
学ぶ意欲	○発表会の練習() ・合奏 ・スピーチ	○朝のスピーチタイム()	○お正月遊び() ・かるた ・すごろく	○学校ごっこしよう()	○ゆうびんごっこしよう()	○本の読み聞かせ()	○算数科: 計算選手権()	○ミニ発表会() ・歌 ・スピーチ ・計算 ・ひらがな	○国語科: しりとりにゲーム()
家庭や地域との連携	■アンケートの実施 ■小学校教諭の説明会	■小学校生活を意識した絵本の紹介	■懇談会(希望者)	■9時までに登園 ■自分の持ち物を自分でそろえる。	■下校時刻のお知らせ ■次の日の持ち物を自分でそろえる。 ■通学定章の配布	■学級懇談会	■親子活動	■1学期個人懇談	
幼保小の連携	□学校授業参観 就学時検診	☆ふれあい交流会(年長・2年)	□授業参観(小学校教員参観)	□新入生1日入学 ☆交通安全教室(年長・5年)	□情報交換会	□授業参観(園教員参観) □情報交換会	☆児童と園児の交流会	□情報交換会	

- 活動をおとして身につけさせたい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のどれにあたるのか分かるように明記する。
- 「幼保小連携」の項目において、子ども同士の交流については、☆印で明記する。
- 令和5年10月末までに学校教育課に提出する。

令和5年度の交流校区別の取組について

校区名 記入者氏名

【1 リンクリンクカリキュラムの見直し・修正について】

【2 職員同士の研修や情報交換等】

(例: 相互参観や保育体験、情報交換、合同研修など)

□ 実施済のもの	
(内容)	
□ 実施予定のもの	
(内容)	
□ 実施に向けて検討中又はこれから検討を始めるもの	
(内容)	

【3 園児と児童の交流について】

(例: 生活科や総合的な学習の時間を活用したもの、行事への参加など)

□ 実施済のもの	
(内容)	
□ 実施予定のもの	
(内容)	
□ 実施に向けて検討中又はこれから検討を始めるもの	
(内容)	

カリキュラムをもとに、
年間の大きな計画を立てます！



架け橋期のカリキュラムとは

幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育・保育と小学校教育の関係者が連携して作成するものです。

山口県が設定した架け橋期のカリキュラムの「開発の方向性」及び「共通の視点例」は以下のとおりです。

【山口県の架け橋期のカリキュラム「開発の方向性」】

- 地域、園・小学校が創意工夫しながら、それぞれの特色を生かしてカリキュラムの作成ができるようにする。
- 山口県における「共通の視点例」及び実践事例を示すことにより、各園・小学校、市町が架け橋期のカリキュラムを作成する上での手掛かりとすることができるようになる。

【山口県の架け橋期のカリキュラムの「共通の視点例」】

- 子どもたちの現状
- めざす子ども像（園・小学校・地域・家庭みんなで考える子ども像）
- 育みたい力（育みたい資質・能力、重点を置きたい10の姿、ねらい 等）
- 育ちと学びのつながり（園での活動と小学校の学習のつながり）
- 人のつながり
 - ・ 子ども同士のつながり（交流活動 等）
 - ・ 先生同士のつながり（合同会議・研修会 等）
 - ・ 家庭とのつながり
 - ・ 地域とのつながり
- 指導上の配慮事項（「つながり」に関するもの）
 - ・ 先生の関わり
 - ・ 環境の構成

次ページから、令和5年度幼児教育・保育長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムを事例として掲載しています。なお、センターWebページには、令和5年度以外の長期研修生派遣園・在籍校作成・実践カリキュラムも掲載しております。



架け橋期のカリキュラム例①「やない架け橋期のカリキュラム」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

やない 架け橋期の カリキュラム

令和6年 2月

保育園(所)・幼稚園<5歳児>
遊びを通した学び

自分が大好き・友達が大好き・園や学校が大好き・柳井が大好き!!

小学1年生
教科等を通した学び

柳井市の枠となる
ものとして作成し
ました。めざす子
ども像も市内共通
のものです。

カラフルでかわ
いデザイン*
にし、架け橋期
がイメージでき
るようにしまし
た。また、「掲示
するなどしてい
つも手元に置き
てほしい」との
思いも込めまし
た。
☆ 右の二次元
コードのデータ
はカラーになっ
ていますので、
ぜひご覧ください。

4月		3月		4月		8月		9月		3月	
こ ど も の 育 ち や 学 び の つ な が り	知識・技能の基礎	〇生活や活動の見通しをもち、考えて行動する。【①②】 〇運動会や発表会に向けて、自分達も内容を考えたり、友達と協力したりする。【③④⑩】 〇自分の気持ちを先生に受け止めてもらったり、行動を振り返ったりすることで、友達の思いやきまりの必要性に気付く、行動する。【④⑤⑥】 〇散歩や遠足などの園外保育で、公共施設を大切にすることで社会とのつながりを意識する。【④⑤】 〇みんなで使う物を大切にしたり、片付けたりして、自分で生活の場を整え、その必要性を理解する。【①④⑤】		①健康な心と体		〇自分でできることを自分でしようとする。【②】 〇気持ちのよい挨拶や会釈、返事をしようとする。【①】 〇必要なものや日課を自分で準備しようとする。【②】 〇時間を意識して行動しようとする。【①②】 〇楽しくマナーよく給食を食べようとする。【①⑤】 〇先生や友達の顔と名前を覚え、進んで関わろうとする。【③】 〇分からないことや困ったことは先生や友達に聞くこととする。【③】 〇学校のきまりを知り、ルールを守って生活しようとする。【④】 〇場に応じた言葉遣いの大切さを知り、使おうとする。【④】 〇学校応援団など地域の方とのふれあいを楽しむ。【⑤】 〇教科等の学習に興味・関心をもつ。【⑥】 〇校庭の自然に触れて、その変化を感じる。【⑦】 〇自分たちの遊びや生活、学習の中で楽しみながら数えたり比べたりする。【⑧】 〇友達や先生との会話を楽しむ。【⑨】 〇友達と楽しく歌を歌ったり、絵を描いたりしようとする。【⑩】		〇学級や学校での過ごし方について知り、見通しをもって学校生活を送ることができる。【①】 〇登下校や学校生活の中での安全な過ごし方について考えたり判断したりすることができる。【①】 〇生活や学習の中で、めあてをもって取り組み、振り返ることができる。【②】 〇係や当番活動など自分の役割を果たすことができる。【②】 〇学校行事を通して、新しいことや初めてのことに進んで挑戦し、友達と協力しながら活動することができる。【③】 〇相手の立場に立って考えたり、気持ちに寄り添おうとしたりすることができる。【④】 〇よいことと悪いことを判断し、よいと思うことを進んで行おうとする。【④】 〇友達との関わりの中で思いやりをもって言葉をかけ、行動することができる。【④】 〇行事や交流を通して、自分の成長や頑張り、友達のよさに気付くとともに、いつも自分を支えてくれる周りの人に目を向け、感謝の気持ちをもつことができる。【⑤】 〇探究心をもって予測したり、試したりして主体的に学習に取り組むことができる。【⑥】 〇植物や生き物と関わり、生命を大切にしようとする。【⑦】 〇数量や図形、標識や文字などを生活や学習の中で使うことができる。【⑧】 〇いろいろな場面での話し合い活動を通して、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたり、質問したりすることができる。【⑨】 〇読書習慣を身に付け、言語に対する興味関心を広げるとともに、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現することができる。【⑨】 〇自分のイメージを動きや言葉、絵などで表現することの楽しさを味わう。【⑩】			
	思考力・判断力・表現力の基礎	〇ごっこ遊びの中で生活に必要な文字や数字、標識などに興味をもち、使うことで伝わる喜びを味わう。【⑧】 〇日々の生活を振り返り、楽しかったことを話したり聞いたりする。【③⑤⑨】 〇絵本や童話などの内容をこども自らの経験と結び付けたり、思いを巡らせたりして、思考力・想像力を豊かにする。【⑥⑩】 〇自分のイメージしたものをのびやかに表現し、友達同士で表現する過程を楽しみながら、喜びを味わう。【⑨⑩】		②自立心		③協同性		④道徳性・規範意識の芽生え			
	学びに向かう力・人間性等	〇自然に触れて感動する体験を通して、好奇心や探求心をもち、身近な動植物を命あるものとして大切にすること。【⑥⑦⑩】 〇園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって前向きに取り組む。【①②】 〇園生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らせたことを自分で表現する。【⑥⑨⑩】 〇仲間の意思を大切にしようとし、友達の主張に耳を傾け、共感したり意見を言い合ったりする。【③⑥⑨】 〇様々な経験や対人関係の広がりが自立心を高め、就学への意欲や期待をもつ。【②⑤】		⑤社会生活との関わり		⑥思考力の芽生え		⑦自然との関わり・生命尊重			
				⑧数量や図形・標識や文字などへの関心、感覚		⑨言葉による伝え合い		⑩豊かな感性と表現			

※各園の特色に応じて変更も可能です。

※各校の特色に応じて変更も可能です。

内容項目を細かくせず、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に子どもの姿のみを示すことで、各園の考えや特色ある取組を尊重し、どの園・小学校でも活用できるようにしました。

1年生前半期は、「～しようとする」という意欲目標としました。
そうすることで、子どもたちに、寄り添った支援や言葉がけができるようにしてほしいとの願いを込めています。

カリキュラムのデータはこちら→



子どもの姿が、
「幼児期の終わ
りまでに育って
ほしい姿」とつ
ながっているの
かを確認でき
よう、番号を記
入しました。

このカリキュラムの作成に当たった実践例を P29～32 に掲載しています！！

架け橋期のカリキュラム例②ー「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(園)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成にあたって大切にしたことや工夫点を示しています。

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

①(架け橋期にめざす子供像)②(育みたい力)について話し合い、共通理解することでそれぞれの教育・保育実践へのつながりを考えることができるようにしました。

園と小学校、互いの実践を知り、聞き合うことができるように、園ではどのような行事や同年齢グループの保育を行っているかを記載しました。同年齢クラスでの保育は、内容によって3つに分けて記載しています。

令和6年度周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム(小さき花幼稚園)													
対象	5歳児												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	架け橋となる 児期の終わりと で育ってほしい姿
時 期	年長となった喜びを感じ、張り切って新しい生活を楽しむ時期		気の合う友達と遊ぶ中で、仲間意識が育っていく時期			友達との関わりを深めながら、活動や遊びを充実させていく時期			友達と共通の目的に向かって意欲的に取り組む時期			一年生になることへの期待が高まり、活動への取り組みに自信が見られる時期	
①架け橋期にめざす子供像	自分の思いをもち、喜んで表出しようとする子						思いやりをもち、友達と一緒にさいごまで頑張りぬく子						
②育みたい力(ねらい)	・年長になったことへの喜び、自覚 ・身の回りにある自然に興味・関心を持ち、命の尊さを感じる心 ・自分の思いを伝える力、友達の意見にも耳を傾ける力						・すすんで年少・年中児とかかわり、優しく接したり、助けたりしようとする力 ・自立心・友達と力を合わせ生活をすすめていく力 ・自分の力を発揮しながら、友達と共通の目的に向かって活動に取り組む力						
③育ちと学びのつながり(活動・教科等)	・1学期始業式 ・挨拶・排泄・持ち物の始末 ・食事の見直し ・交通安全教室 ・親子遠足(動物園)		・避難訓練(火災・不審者) ・親子の集い ・朝ご飯チャレンジ ・お泊り保育 ・1学期終業式		・2学期始業式・岐陽中職業体験 ・徳山小学校探検・体操参観 ・避難訓練(不審者・火災)・運動会 ・ミニ運動会・園庭きチャレンジ ・秋まつりジュース屋さん		・バス遠足(みかん狩り)・保育参観 ・七五三祝儀式・避難訓練(地震) ・クリスマス会(劇発表会) ・クリスマスパーティー ・2学期終業式		・3学期始業式・カットケーキ作り ・郵便ごっこ ・避難訓練(火災・消防車見学) ・豆まき・カレーパーティー・ひなまつり会 ・ドッジボール大会(2面) ・音楽発表会(合奏・歌) ・お別れ遠足・お別れ会・卒園式		①健康な心と体		
④人とのつながり ・子ども同士のつながり(交流活動) ・指導者同士のつながり(合同会議・研修会) ・家庭とのつながり ・地域とのつながり	・このほりの制作・動物を作ろう ・自然物(園庭の花)の観察・描画 ・リレーあそび ・走り測定(20Mのタイムを測る) ・鍵盤ハーモニカにさわってみよう		・水遊び・絵の具の混色でジュースを作ろう ・七夕飾りを作って飾ろう・朝顔を描こう ・駄び箱あそび(開閉遊びに挑戦してみよう) ・鉄棒あそび(前回り・逆上りに挑戦してみよう) ・鍵盤ハーモニカで短い曲を演奏してみよう		・運動会の思い出を描こう ・コスモスの描画 ・走り測定(1周のタイムを測る) ・運動会遊び ・鍵盤ハーモニカでいろいろな曲に挑戦してみよう・輪盤遊び		・外遊びを描こう・クリスマス制作 ・サツマイモでスタンプして遊ぼう ・ボーリング遊び(キャッチボールや的のめて、遠投をしてみよう) ・様々な歌で思いを表現しよう		・よく見て描くこと楽しいよ(自転車)・兄のお面づくり ・わたしの夢を描こう・ステレン版画(教食)		②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え		
	交流活動1(1~6年生) 小学校に行ってみよう		交流活動2(1年生) 小学校ちょこっと体験		合同会議1 方計・年間計画 カリキュラム協議1		合同会議2 交流活動についての協議 カリキュラム協議2		合同会議3 公開保育・カリキュラム協議3		合同会議4 年間の評価		
⑤指導上の配慮事項	●連続したことの喜びや、緊張、不安などの心の動きを受け止め、寄り添う。 ○クラス全体ではわかりやすいルールで友達とふれあえたり、皆で盛り上がりたることができるような活動を取り入れる。 ○生活習慣や園生活の決まりを見直す。 ○一日の予定を文字や図で示し、見通しをもって遊びや生活に取り組めるようにする。 ●周囲との関わりの中で思いを伝えたり相手の思いに気付いたりできるように仲立ちをする。 ○交通指導員の方から、交通安全についてのルールを聞き、実際にやってみる。 ○遠足を通して地域や生き物に関心をもてるようにする。 ○園庭の花を観察し、自然物の美しさに触れ、細かくところへ気づく。 ●教師がすぐ教えるのではなく、「どうしたらいいかな」など問いかけることで、自分たちで考え、判断し、行動することを繰り返させる、主体的に学ぼうとする姿を引き出す。 ●様々な場面で「選ぶ」場面を設定し、子どもが自分の思いを表出し、最後まで粘り強く取り組めるように援助する。 ●様々な場面で、子どもたちの「分かち合い」の場を大切にし、自分たちの学びの良さや次への見通しをもてるようにする。		●衛生面に留意し汗の始末や水分補給の大切さを知らせ、自分から行動できるように促す。 ○避難訓練を通して、命について考えられるような教材を準備し、問いかける場面を設ける。 ○朝顔をクラスで綴じ、水やりなどを一纏にする中でその成長に関心もてるようにする。 ○朝ご飯チャレンジカードを使い、頑張りを可視化する。 ○読み聞かせや絵本により七夕の由来を伝え、伝説行事や夏の夜空に関心もてるようにする。 ●短冊作りでは、発遣に応じて節語の教材を使い、思いを文字に起こす援助をする。 ○水遊びでは、冷たい、流れる、溜まるなどの水の特性に気づかせ、気持ちよさを感じられるようにする。 ○お泊り保育に参加することによって、自立心を養い友達との絆を深める。		○運動会に向けて各自の取り組み・思い・タイム等が可視化できるよう運動会のあゆみシートを準備する。 ○運動会の種目を自分で選ぶために、パラタイプ・表現体操の体験を繰り返して行う。 ○上記の2つの種目のうちから運動会での自分のやりたい方を、1つだけ選り主体性を高められるようにする。 ○自分たちの目標や課題を乗り越える経験を認め、自信につながるようにすることができるようになる。 ○練習後に分かち合いの時間を設け映像を見たり話し合ったりする中で活動の充実をはかる。 ○目標や改善点、良かった点などを振り返り、意見を伝え合う。		●みかんの絵本をよんだり、クイズを出したりすることにより、季節の果物の関心を高める。 ○バスに乗る様子並び順を示し、視覚的にわかるようにする。 ○園で果物の刺についての内容が深まるよう絵本をよんだり、登場人物の心情を問うかける。 ○様々な役の体験ができるような場を設定し、その中からやってみたい役を選ぶことにより主体的に関わることができるようになる。 ○いろいろな表現を話し合い試行錯誤しながら、共通のテーマのもとにまとまりのある活動を作りだす。 ○クリスマス会後も様々な役ができるような場や話し合いを設ける。		○はがきや郵便ポスト、書き方の見本などを準備し、手紙のやり取りを通して、文字や数量への関心が高まるようにする。 ○日本の伝統行事を知り親しめるよう話をし、飾りを出したり話したりして関心を高める。 ○園で最後の発表会として、曲目を何曲か準備し、自分たちで選んで楽しむことができるようにする。 ○友達の歌や楽器の音に気付くことで、合わせ心地のよさを感じられるようにする。 ○ドッジボールのルールを理解し、チームでプレーすることの喜びを感じながら、自己発揮できるようにする。 ●園生活を振り返り、いろいろな人にお話を聞いたことに気づき、感謝の心をもてるようにする。 ○小学校について話したり、小学生と関わったりする機会を通して、就学に期待がもてるようにする。		⑤数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑥言葉による伝え合い ⑦豊かな感性と表現		

校区内でずっと取り組んでいる「小学校ちよこっと体験」を交流の重点に置き、互いに学びのある内容になるよう実践しようと共通理解しました。

協議の中で園と小学校、互いが大切にしていると分かった「自分たちで考え判断することを繰り返すこと」「選ぶ場面の設定」「分かち合い(振り返り)を大切にすること」を2年間貫く保育者の関わりとして記載しています。

カリキュラムのデータはこちら→



吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

架け橋期のカリキュラム例②-2「周南市幼保こ小の架け橋期のカリキュラム（小学校）」

山口県の共通の視点例をもとに周南市が作成した枠を使用しました。

令和6年度周南市幼児保育小の架け橋期のカリキュラム（周南市立徳山小学校）

	対象 月 時 期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
架け橋となる幼児児期の終わりに育ってほしい姿		1年生になった喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期	学校生活に慣れ、安心して自信をもって様々なことにに関わり、友達と楽し過ごす時期	自分の思いや考えを出し合い、学習や生活が充実する時期 ・同じ目的に向かって、友達と力を合わせて活動に取り組む時期							1年間の活動を振り返り自信をもち、2年生になることへの期待が高まる時期		
①架け橋期にめざす子供像		重点的に育みたい力		自分が経験したことや考えたことをのびのびと伝え合うことができる子			自分たちの課題に向かって友達と最後まで粘り強く取り組もうとする子			【徳山中学校区きめカリキュラム】 （知）目標をもって主体的に学び続ける人 （情）他者を思いやり、感謝の心をもつ人 （体）よい生活習慣と強い体力をもつ人 （進）地域の明日を担う人			
②育みたい力（ねらい）		・話す力・聞く力・待つ力 ・自分の気持ちや考えが自覚できる力			・言葉の力 ・感動体験 ・共感する力			・友達のこころを理解しようとする力 ・コミュニケーション能力 ・友達と一緒に学びを作り出す力			・自分の行動に責任をもつ力 ・自分で考え・選び、やり遂げる力 ・気づく力		
③育ちと学びのつながり（活動・教科等）		○園の経験を生かしなが、自分でできることや新たなことに主体的に取り組む。 ○小学校での学びと園での体験がなげかていところへ気づき、学びを深めることができる。											
④健康な心と自立心協同性道徳性・規範意識の芽生え社会生活との関わり思考力の芽生え自然との関わり・生命尊重		国語【どうぞよろしく】 国語【こんなもの、自己紹介】 国語【よくばりな自分】 国語【かぞとすじ・なんばのめ】 国語【みんなに、しらせよう】 国語【しらせたいな、みせたいな】 国語【なんじなんじほん】 国語【おききくらへ】 国語【どんなおもしろいかな】 国語【くわしくきこご】 国語【いいこといけい年生】 国語【なんじなんじほん】 【いねんせい、はじまる】 【なかいしっぱい、がつこうたんけん】 【なつと、ともだち】 【さいてほしいな、わたしのはな】 【いきものと、なかよし】 【あきと、ともだち】 【みんなの、ここに、大きくせん】 【もうすぐみんな2年生】 【ふゆとともだち】 国語【おはな、だいすき】 国語【おはな、だいすき】 国語【おはな、だいすき】 国語【おはな、だいすき】 国語【おはな、だいすき】 国語【おはな、だいすき											

園と小学校がめざす子ども像は、学校・地域連携カリキュラムにもつながっている部分があり、架け橋期の学びが18歳までの学びにもつながる重要なものだと伝わるように、中学校区のカリキュラムに掲載しました。

校区内で長年取り組み
んでいる「小学校ち
ょこつと体験」を1
年生の学びの集大成
とし、自分たちの成
長を振り返り、次の
学びへつなげられる
ような活動をめざし
ています。

小学校では、生活科を
中心にした総合的な学
びをデザインしている
ことが伝わるように
し、「振り返り（分か
ち合い）」に大切な、
国語科の「話す・聞
く」の単元も記載して
います。「どんなこと
を学習するのか」を伝
えるツールにもなって
います。

カリキュラムのデータはこちら→



架け橋期の カリキュラム例

架け橋期のカリキュラム例③ーI「下関市川中小学校区架け橋期のカリキュラム(人をつなぐ)」

吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

下関市川中小学校区(木の楽保育園・ひだ保育園・川中幼稚園・下関国際高等学校付属幼稚園) 架け橋期のカリキュラム															
【幼児期の終わりにまで育ててほしい10の姿】															
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現															
めざす子ども像	♡かしこい子(意欲的に学び、表現する子)				自分で考え判断する子 ♡やさしい子(認め合い支え合う子)		♡つよい子(粘り強く、一生懸命取り組む子)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
幼稚園の姿	●年長児になったことの喜びや期待感が見られ、年少児からつながりのある友達と一緒に遊ぼうとする。 ●戸外で活動することも好み、いろいろな運動を逞んでいく。 ●身近な動物に関わりをもち、世話をする。	●仲間意識が高まり、好きな友達と遊ぶが、考え方の違いから、いざこざも起こりやすい。 ●身近な環境にかかわり、自分から進んで遊ぶとする。 ●身の回りの自然や事象に対して、興味や関心が高まり、よく見たり、考えたりする姿が見られる。	●進んで仲間と遊ぶが、みんなでひとつの目的をもって遊ぶ姿が見られる。 ●自分たちで、ルールのあるあそびを好んでできるようになり、競争意識も出てくる。 ●生活経験が広がるごとに、友達同士の会話も盛んになり、考えたりする姿が見られる。	●戸外で遊ぶ十分に動かし、友達と一緒に共通の目的をもって、意欲的にあそびに取り組む。(♡♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。			
	●新しい環境に慣れ、友達とあそびを楽しむ。(♡♡) ●年長児としての自覚を持ち、進んで必要なきまりを守る。(♡) ●身近な動物に関わりを持ち、世話をする。 ●年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを心がける。 ●児童館などから落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●園内や近隣の施設など、園外での遊びの機会を積極的に確保し、安全に遊ぶように配慮する。	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを知る。(♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の世話をしなが、成長や動きに興味や関心をもたせ、いたわりの気持ちを育むようにする。 ●自分の意見を伝えなが友達との意見や考えを受け入れることで、あそびがいつとおもしろくなることに気づくようにする。	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の飼育や自然物に関する絵本や動画なども、幼児の興味や関心に応じて十分にできるようにしておく。 ●いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組めるように、幼児と一緒にあそびの場を作っていくようにする。 ●児童館などに向けて活動するが、友達同士で目的をもって、みんなでのびのびする姿をみる楽しさや面白さを体験できるようにする。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。				
育みたい力ねらい	●環境の変化から落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●いろいろな素材や用具などを自分たちで遊び、伸び伸びと遊べるように用意しておく。 ●動物園の世話や車に関する絵本の読み聞かせ等を通して、命の大切さについて知らせる。 ●年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを心がける。 ●児童館などから落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●園内や近隣の施設など、園外での遊びの機会を積極的に確保し、安全に遊ぶように配慮する。	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを知る。(♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の世話をしなが、成長や動きに興味や関心をもたせ、いたわりの気持ちを育むようにする。 ●自分の意見を伝えなが友達との意見や考えを受け入れることで、あそびがいつとおもしろくなることに気づくようにする。	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の飼育や自然物に関する絵本や動画なども、幼児の興味や関心に応じて十分にできるようにしておく。 ●いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組めるように、幼児と一緒にあそびの場を作っていくようにする。 ●児童館などに向けて活動するが、友達同士で目的をもって、みんなでのびのびする姿をみる楽しさや面白さを体験できるようにする。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。					
	●新しい環境に慣れ、友達とあそびを楽しむ。(♡♡) ●年長児としての自覚を持ち、進んで必要なきまりを守る。(♡) ●身近な動物に関わりを持ち、世話をする。 ●年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを心がける。 ●児童館などから落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●園内や近隣の施設など、園外での遊びの機会を積極的に確保し、安全に遊ぶように配慮する。	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを知る。(♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の世話をしなが、成長や動きに興味や関心をもたせ、いたわりの気持ちを育むようにする。 ●自分の意見を伝えなが友達との意見や考えを受け入れることで、あそびがいつとおもしろくなることに気づくようにする。	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の飼育や自然物に関する絵本や動画なども、幼児の興味や関心に応じて十分にできるようにしておく。 ●いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組めるように、幼児と一緒にあそびの場を作っていくようにする。 ●児童館などに向けて活動するが、友達同士で目的をもって、みんなでのびのびする姿をみる楽しさや面白さを体験できるようにする。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。					
環境構成 ☆保育者の援助	●環境の変化から落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●いろいろな素材や用具などを自分たちで遊び、伸び伸びと遊べるように用意しておく。 ●動物園の世話や車に関する絵本の読み聞かせ等を通して、命の大切さについて知らせる。 ●年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを心がける。 ●児童館などから落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●園内や近隣の施設など、園外での遊びの機会を積極的に確保し、安全に遊ぶように配慮する。	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを知る。(♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の世話をしなが、成長や動きに興味や関心をもたせ、いたわりの気持ちを育むようにする。 ●自分の意見を伝えなが友達との意見や考えを受け入れることで、あそびがいつとおもしろくなることに気づくようにする。	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の飼育や自然物に関する絵本や動画なども、幼児の興味や関心に応じて十分にできるようにしておく。 ●いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組めるように、幼児と一緒にあそびの場を作っていくようにする。 ●児童館などに向けて活動するが、友達同士で目的をもって、みんなでのびのびする姿をみる楽しさや面白さを体験できるようにする。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。					
	●新しい環境に慣れ、友達とあそびを楽しむ。(♡♡) ●年長児としての自覚を持ち、進んで必要なきまりを守る。(♡) ●身近な動物に関わりを持ち、世話をする。 ●年長児になった喜びや緊張、不安などさまざまな気持ちに寄り添い、一人ひとりの丁寧な受け止めを心がける。 ●児童館などから落ち着かない幼児もいるので、使い慣れた遊具や用具を準備し、安心して遊べるようにする。 ●園内や近隣の施設など、園外での遊びの機会を積極的に確保し、安全に遊ぶように配慮する。	●友達と一緒に目的をもって、あそびを進める楽しさを知る。(♡) ●自然や身近な環境と触れ合い、自分なりの考えをもって、あそびを工夫したり、挑戦したりして遊ぶ。(♡♡)	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の世話をしなが、成長や動きに興味や関心をもたせ、いたわりの気持ちを育むようにする。 ●自分の意見を伝えなが友達との意見や考えを受け入れることで、あそびがいつとおもしろくなることに気づくようにする。	●あそびのイメージを豊かにするための素材や道具、用具を身に付けるように準備して、場や時間を十分に確保する。 ●水あそびの約束を守り、みんなが気持ちよく安全に遊ぶように配慮する。 ●小動物の飼育や自然物に関する絵本や動画なども、幼児の興味や関心に応じて十分にできるようにしておく。 ●いろいろな運動や遊びに意欲的に取り組めるように、幼児と一緒にあそびの場を作っていくようにする。 ●児童館などに向けて活動するが、友達同士で目的をもって、みんなでのびのびする姿をみる楽しさや面白さを体験できるようにする。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。	●あそびの内容が豊かになり、共通の目的をもってグループでの友達とあそび、工夫したりすることを喜ぶ。 ●身の回りの自然や事象を生かして、あそびをたのしむようになる。 ●自然の移り変わりに興味や関心を持ち、注意深く見たり、考えたりするようになる。					
家庭との連携	○進級時の生活の様子を知らせ、幼児が安定して過ごせるよう協力をお願い。 ○基本的な生活習慣について、園と家庭で一貫した指導ができるように伝える。 ○家庭訪問、個人懇談等を通して、園でのあそびの様子や年長児になってからの成長の姿を知らせる。 ○連絡帳を通してやり取りしたり、その日の保育について隔日に保護者に伝える。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。					
	○進級時の生活の様子を知らせ、幼児が安定して過ごせるよう協力をお願い。 ○基本的な生活習慣について、園と家庭で一貫した指導ができるように伝える。 ○家庭訪問、個人懇談等を通して、園でのあそびの様子や年長児になってからの成長の姿を知らせる。 ○連絡帳を通してやり取りしたり、その日の保育について隔日に保護者に伝える。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。	○雨の日の歩き方、傘のさし方など、安全面に気を付けてもらう。 ○幼児の体調について確認してもらう。楽しく水あそびやプール遊びができるようにする。 ○秋の自然に関心を持ち、親子で触れ合う機会をもつように心がける。 ○個人懇談などで、幼児の成長の様子を知らせ、保護者とともにしっかり認めていくようにする。					
交流活動の予定	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●1年生授業参観 ●幼児小研修会(7月) ●2年生との交流(学級)JA ●5年生との交流(6月)JA ●運動会後、(給食見学)・トイレの使い方 ●プール見学・児童館見学・トイレの使い方	●1年生授業参観 ●2年生との交流(学級)JA ●就学時研修(10月)JA ●1年生を伴った保護・トイレの使い方 ●生活科授業参観・トイレの使い方	●授業参観(土曜日)(11月) ●園の園(園遊会)研修(11月) ●校長室見学・トイレの使い方 ●図書室利用・トイレの使い方	●幼児小研修会(来年度の打ち合わせ) ●全校授業参観 ●1年生との交流(年長児の小学校体験) JA ●予備会(2月)	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学					
	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●1年生授業参観 ●幼児小研修会(7月) ●2年生との交流(学級)JA ●5年生との交流(6月)JA ●運動会後、(給食見学)・トイレの使い方 ●プール見学・児童館見学・トイレの使い方	●1年生授業参観 ●2年生との交流(学級)JA ●就学時研修(10月)JA ●1年生を伴った保護・トイレの使い方 ●生活科授業参観・トイレの使い方	●授業参観(土曜日)(11月) ●園の園(園遊会)研修(11月) ●校長室見学・トイレの使い方 ●図書室利用・トイレの使い方	●幼児小研修会(来年度の打ち合わせ) ●全校授業参観 ●1年生との交流(年長児の小学校体験) JA ●予備会(2月)	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学	●新1年生情報交換会 ●交流事前打ち合わせ(4月) ●1年生授業参観(5月) ●運動会練習見学					
小学校1年生	1学期前半	1学期後半	2学期前半	2学期後半	3学期	1学期前半	1学期後半	2学期前半	2学期後半	3学期	1学期前半	1学期後半	2学期前半	2学期後半	3学期
	●1年生になったことを喜ぶ/元気に挨拶する ●トイレの使い方を知る ●安全に下校する。	●友達や先生と楽しく遊ぶ。 ●給食、掃除など学校生活のリズムに慣れる。 ●安全に下校する。	●学習の約束を身につける。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。 ●学習の約束を身につける。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。 ●学習の約束を身につける。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。	●1日の流れをつかむ。 ●落ち着いて生活する。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。 ●学習の約束を身につける。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。 ●学習の約束を身につける。 ●給食、掃除など学校生活のルールに慣れる。	●4.5分の授業に慣れ、意欲的に学習に取り組む。 ●進んで学習活動や活動を行う。(♡♡) ●環境に慣れ、先生や上級生の存在に慣れる。 ●新たな先生や友達と関わる。 ●友達と仲間と遊ぶ、助け合いながらのび活動する。(♡)	●クラスに委ねるようになり、友達と協力することができる。(♡) ●初めてのことに進んで取り組み、苦手なことや難しいことにも友達と励まし合ながら挑戦する。(♡♡) ●進んで学習活動や活動を行う。(♡♡) ●環境に慣れ、先生や上級生の存在に慣れる。 ●新たな先生や友達と関わる。 ●友達と仲間と遊ぶ、助け合いながらのび活動する。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	●他学年とのふれ合いを通して、自分であることは何かを伸ばす。 ●友達と協力し合い、多くの友だちと折り合いを付けながら仲間と遊ぶ。 ●2年生になったことや進んで学習活動を進める。 ●自分であることを実行したり、規則正しく健康に生きることで生活したいと思うようになる。(♡)	
環境構成 ☆教師の援助	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。					
	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的支援を大切にすること。 例) 1日の流れを見えるように掲示、朝の挨拶、約束などはイラストを入れたカードを使用 例) 4.5分という時間を知らせ、子どもたちの様子や活動に合わせて弾力的に時間を配り、時間の項目でトイレへの声掛けを丁寧に行ったりするなど配慮する。 ☆児童生活の基本が身に付くように、繰り返し、わかりやすく指導する。 ☆先生や友達と進んで関わりあう中で、その良さや楽しさを感じ、クラスの一員であることに気づくことができるようにする。	●机の配置や教室掲示等の学習環境に配慮し、安心感を持って学校生活が進めるようにする。 ●視覚的											

架け橋期を通して
 どのような子ども
 を育てたいのかを
 表す「めざす子ども
 像」を決めること
 で、共通の視点で同
 じ小学校区の子ど
 もたちを育成する
 ことができると考
 えました。

以前作成されて
 いた接続期のカリ
 キュラムをもとに、「人をつな
 ぐ」ページと「学
 びをつなぐ」ペー
 ジに整理し、2枚
 にまとめました。

交流活動を中心として、上
 側が園、下側
 が小学校の欄
 として、保幼
 小のつながり
 が分かりやす
 くなるように
 まとめまし
 た。

園では、家庭との連携を大切にしています。小学校でもできる家庭との連携を考え、
 引き続き家庭と協力しながら子どもたちを育てていきたいと考えました。

カリキュラムのデータはこちら→

架け橋期
 のカリ
 キュ
 ラム
 例



吹き出しに、作成園・小学校が「架け橋期のカリキュラム」作成に当たって大切にしたことや工夫点を示しています。

「学びをつなぐ」のページでは、主な行事と園での活動内容と小学校での教科指導の内容について載せました。

生活科を中心とした、総合的・関連的な指導を行うに当たり、生活科の単元、ねらいを載せることで、見通しをもって保育や授業を行うことができると考えました。

引用・参考文献

- 厚生労働省「保育所保育指針」（平成 29 年 3 月告示）
- 文部科学省「幼稚園教育要領」（平成 29 年 3 月告示）
- 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成 26 年 4 月告示）
- 文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」（平成 4 年 3 月）
- 無藤 隆「保育の学校 3」フレーベル館（2011 年）
- 鳥取県教育委員会 鳥取県幼保小接続ハンドブック「育ちと学びをつなぐ」（平成 30 年）
- 広島市乳幼児教育保育支援センター「幼保小接続に向けた手引き」（令和 2 年）
- 掛川市教育委員会「『かけがわ型架け橋カリキュラム』作成に向けて」（令和 5 年）
- 山口県子育て支援連携推進委員会「つながる子どもの育ち 改訂版」（平成 23 年）

参考資料

本冊子の実践をより深めることのできる資料です。是非御覧ください。

1 指針・要領等 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/264254.html>

- ・ 保育所保育指針解説 ・ 幼稚園教育要領解説
- ・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説
- ・ 小学校学習指導要領解説 総則編
- ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
- ・ 遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽” （動画コンテンツ）
- ・ 幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？



2 幼保小の架け橋プログラム

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/264225.html>

- ・ 手引き
- ・ 参考資料



3 幼児教育・保育長期研修

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/264262.html>

- ・ 研修概要
- ・ 長期研修計画書・報告書
- ・ 研修生作成カリキュラム



4 幼児教育アドバイザー等

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/204533.html>

- ・ アドバイザー等訪問の手引き



5 つながる子どもの育ち

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/271357.html>



6 保幼小連携に関するリーフレット 「はじめのいっぽ」

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/186/217832.html>



山口県架け橋期のカリキュラム開発会議委員（R4年度～R6年度） ※ 所属・職は当時

氏名	所属	職	備考
田中 マキ子	山口県立大学	学 長	学識経験者・会長
川崎 徳子	山口大学	准 教 授	学識経験者
松永 雅子	愛児園平川保育所	所 長	保育所関係者
小山 敦美	下関市立第一幼稚園	園 長	公立幼稚園・こども園関係者
高見 恵子	山口市立宮野幼稚園	園 長	公立幼稚園・こども園関係者
松重 洋子	平生町立平生幼稚園	園 長	公立幼稚園・こども園関係者
青木 香雄	認定こども園 美祢幼稚園	園 長	私立幼稚園・こども園関係者
中村 直子	認定こども園 野田学園幼稚園	副 園 長	私立幼稚園・こども園関係者
平野 幸世	山口市立上郷小学校	校 長	小学校関係者
上野 敦子	山口県地域連携教育推進協議会	委 員	地域連携教育関係者
盛満 恵	下関市こども未来部幼児保育課	主 査	市町保育主管課担当者
内村 樹子			
近森 利栄	周南市教育委員会学校教育課	指導主事	市町教育委員会担当者
小林 弘典			

山口県架け橋期のカリキュラム開発会議事務局委員（R4年度～R6年度） ※ 所属・職は当時

氏名	職	所属
井原 哲典	主 幹	山口県教育庁義務教育課
原田 孝之		
久富 修己	指導主事	山口県教育庁特別支援教育推進室
品川 竜典		
藤田 昌也	社会教育主事	山口県教育庁地域連携教育推進課
阿野 隆志		
田中 哲也		
三木 昌子	主 幹	山口県健康福祉部こども・子育て応援局こども政策課
吉村 功二		
重村 励志	主 任	山口県総務部学事文書課
竹重 和哉		

保幼小連携に係る資料作成ワーキンググループ委員（R5年度～R6年度） ※ 所属・職は当時

氏名	所属	職	備考
金子 幸	周南公立大学	准 教 授	学識経験者・グループ長
青山 翔	山口大学	講 師	学識経験者
浅野 望	やまぐち子育て福祉総合センター	主 任	保育所関係者
野村 直哉	愛児園平川保育所	主 任	保育所関係者
上風呂 尚美	周南市立須々万幼稚園	主 任	公立幼稚園・こども園関係者
金田 裕子	下関市立川中幼稚園	主 任	公立幼稚園・こども園関係者
和高 ゆかり	認定こども園 ふくがわこども園	主 任	私立幼稚園・こども園関係者
信國 里美	認定こども園 松崎幼稚園	主 任	私立幼稚園・こども園関係者
町田 良美	柳井市立柳井小学校	教 諭	小学校関係者
中山 理恵	周南市立徳山小学校	教 諭	小学校関係者
伊秩 宏美	下関市立川中小学校	教 諭	小学校関係者
篠田 一郎	美祢市市民福祉部子育て支援課	副主幹・主査	市町保育主管課担当者
山縣 利恵	山陽小野田市教育委員会学校教育課	指導主事	市町教育委員会担当者
能野 奈々			

山口県架け橋期のカリキュラム開発会議・保幼小連携に係る資料作成事務局委員
（R4年度～R6年度） ※ 所属・職は当時

氏名	職	所属
田中 マキ子	所 長	山口県乳幼児の育ちと学び支援センター
中谷 仁美	次 長	
中島 香織	次長・主査	
竹内 秀一	総務課長	
志賀 直美	主 査	
守田 沙織	指導主事	
重枝 孝明		
松井 昭憲		
伊藤 あすか		
梅岡 依央		
西岡 萌恵		
盛満 恵	幼児教育アドバイザー	
八木 真	事務職員	



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

〒753-8501 山口市滝町1番1号(県庁15階)

Mail:a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

Tel:083-933-4450 Fax:083-933-4456